

1. 件名

NEDOプロジェクトにおけるアウトカム目標の在り方に関する調査

2. 目的

アウトカム目標とは、NEDO が実施する研究開発プロジェクト（以下「NEDO プロジェクト」という。）において実施する研究開発が、政策として何を実現するのかを明確化し、対外的な説明を可能とするために設定するものである。併せて、プロジェクト期間中に実施する評価の判断軸とするとともに、プロジェクト終了後においても成果が社会に波及する際の指標として設定している。

現状の NEDO プロジェクトにおけるアウトカム目標は、事業終了から 10 数年後の市場創出効果、温室効果ガス削減量が設定されることが多く、NEDO の中長期計画においても、それらがアウトカム目標の例として示されている。一方で、経済産業省をはじめとした政府機関が示している行政事業レビューシートでは、研究開発事業の長期アウトカムとして「事業化数、上市数」が設定されているなど、同じ「アウトカム目標」という用語であっても、NEDO と他機関では位置づけや想定する時間軸が必ずしも一致していない。また、NEDO の中間評価、終了時評価における評価項目は、経済産業省と同様にアウトカム目標を軸に項目を設定しているが、NEDO におけるアウトカム目標は上述のとおり「将来的な市場創出効果」等であることから、アウトカム目標の達成状況を客観的かつ一貫した視点・方法で評価することが難しいという課題が生じている。

本調査は、国内外における様々な研究開発プロジェクトのアウトカム目標等について調査し、これらの乖離や不整合を整理することで、NEDO プロジェクトにおいて、より適切なアウトカム目標の設定が可能となることを目指して実施するものである。

3. 内容

上記の目的達成のため、下記項目を実施する。

なお、実施にあたっては、NEDO と綿密な連携の下で行うものとし、本仕様書に定めなき事項は、NEDO と実施者が協議の上で決定するものとする。

(1) 国内外における類似プロジェクトに関するアウトカム目標の調査

- ・国内外における NEDO プロジェクトに類する政府の研究開発プロジェクト、及び民間企業等が主体となって実施する研究開発・技術開発又はそれに係る事業（以下「対象プロジェクト」という。）について、150 件以上抽出すること。なお、本調査は網羅性を目的とするものではなく、比較可能性及び示唆抽出を重視するものとし、NEDO プロジェクトとの類似性やアウトカム目標の特徴等の観点から、対象プロジェクトについては NEDO と協議の上で選定することとする。
- ・対象プロジェクトについては、初期段階において広く文献調査や公開情報等により俯瞰的に情報収集を行い、研究フェーズ（基礎研究、応用研究、開発研究、実証等）、事業スキーム（補

助、委託等)、技術分野、主体(政府系機関、民間企業等)及び時間軸(短期・中期・長期)等の観点に基づき分類を行うこと。その上で、アウトカム目標として設定されている定量指標及び定性指標の性質を比較・整理すること。

- ・設定されたアウトカム目標の達成に向け、各対象プロジェクトのマネジメント上の工夫(アウトプットからアウトカムへの遷移を促すマイルストーン設定、進捗管理、ステージゲートによる評価や計画見直しの考え方等)について、具体的な事例を整理すること。
- ・なお、各対象プロジェクトのうち政府系プロジェクトについては、当該国の政府の研究開発投資全体又は政府全体として掲げている目標において当該プロジェクトが担っている機能・役割について整理すること。その上で、当該プロジェクトに参画している各主体の役割、強み及び制約条件等がアウトカム創出に果たす寄与を分析すること。

(2) ロジックモデルを含むアウトカム目標設定プロセスに関する調査

- ・対象プロジェクトのアウトプット目標とアウトカム目標について、それぞれがどのような考え方・基準に基づいて設定されているか、また両者の関係性がロジックモデル等によりどのように整理・可視化されているかについて調査・整理すること。
- ・研究開発の不確実性を考慮し、ロジックモデル上で「技術的な成功」と「事業的な成功」をどのように関連付け、評価等にどのように活用しているかを調査・整理すること。
- ・設定したアウトカム目標やロジックモデルが事業途中で見直される場合の考え方について整理すること。
- ・(1)と併せて、研究開発事業の政策立案や制度設計を行っている関係機関と意見交換を設定し、アウトカム目標の考え方や設定背景について把握する機会を設けること。なお、意見交換の対象については、NEDOと協議の上で選定すること。

(3) NEDOプロジェクトにおける適切なアウトカム目標の在り方に係る分析・提言

- ・(1)、(2)の調査内容を踏まえ、アウトカム目標の時間軸の置き方、指標の性質、定量化の考え方(試算方法や仮定の置き方等)について整理、比較を行い、評価等の観点も含めて、NEDOが担う不確実性の高い長期的な研究開発事業の特性を踏まえた、実効性の高いアウトカム目標の在り方について分析、考察すること。なお、アウトカム目標の設定に当たっては、全プロジェクトに一律の指標を求めるものではなく、研究フェーズや技術分野等の特性に応じた類型化を前提として整理すること。
- ・プロジェクト企画段階及び評価時における活用を見据え、当該アウトカム目標を設定する際の手順書(ガイドライン等)の策定に向けた方針及び論点を整理すること。

4. 調査期間

NEDOの指示する日から2027年3月31日まで

5. 報告書

提出期限：2027年3月31日

提出方法：NEDOプロジェクトマネジメントシステムによる提出

「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って、作成の上、提出のこと。
<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

6. 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。

以上